

ケアマネ、ヘルパーの オアシス目指す

□北海道ケアシステム□

無料休憩スペース「ほっぴーカフェ」

札幌市北区

訪問業務の合間に休憩に立ち寄るなどケアマネやヘルパーの憩いの場を目指して、北海道ケアシステムが札幌市東区北37条東22丁目の地域密着型通所介護「あるほっぴー」の空き部屋を活用し、2019年7月に無料休憩スペース「ほっぴーカフェ」を設置した。月々土曜午前10時から午後4時ごろまで開放しており、電気ポットや冷蔵庫が置かれ無料でコーヒーを飲めるほか、「掲示板に名刺や情報を残すなど、自由に活用してほしい」と呼び掛けている。



坂本有右衛門社代表 けるオアシスのような「と話す。は親交のあるケアマネ 場があれば」とアイデ 同スペースはデイ入

掲示板など情報発信の場にも

との会話で聞いた訪問 アが生まれた。周辺に り口と隣り合わせに玄 Wi-Fi環境も整備。業務の苦労からヒント 喫茶店はあるものの、 関のある独立した造り。 デイとつなぐ小窓から を得て、「ほっと一息つ 「無料で気軽に過ごせ 室内はテーブル、ソフ 利用者、職員の活動の ……」る場所がない。 あいさ アが置かれ無料のコー 様子伝わってくる。 駐車スペース3、4 つなど細かいことも気 ヒー、紅茶や電気ポツ 当初は1日数人の利 台分。建物右側がデイ にせず利用してほし ト、冷蔵庫ほか、充電、 用があり、市内ケアマ



デイから独立して落ち着いた空間

ネが知人を連れて立ち寄り、他事業所職員とつながりのできた例も。新型コロナウイルス感染拡大の影響で利用は減ったものの、介護・医療専門職が集まり、事例検討会も開かれていたという。

最近の名刺、事業所案内など残せるように掲示板を設置。情報発信の場としても活用してもらいたい考えで、竹田美穂子デイ管理者は「業界の仲間同士、助け合ったり、つながりができていくのは素直にうれしい」と話している。